

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月19日 No.16

子どもに学ぶ

放課に運動場にいると、低学年の子どもたちが声をかけてきました。「ちょっとこっちに来て!」というのです。ついていくと…。

このへんに「たけのこ」が生えてきましたよ。どこでしょうか。見つけられますか?



ついていくと、運動場西側の駐車場へ向かう通路の途中でした。通路北側には庭木に加え、雑草なども元気です。このあたりに「たけのこ」があるから見つけてと言うのです。よく探したのですが分かりませんでした。

たけのこは竹藪のような所に生えるものでもともと竹の生えていないところにたけのこは生えない。子どもたちは何かと間違えているのではないかと思いました。

(降参。どこにあるの?)
よく見ないとダメなんだよ。教えてあげる!



子どもたちが教えてくれた所には、小さくてかわいらしいたけのこが顔を出していました。

これだけの話なのですが、今回も子どもたちから二つのことを教わりました。

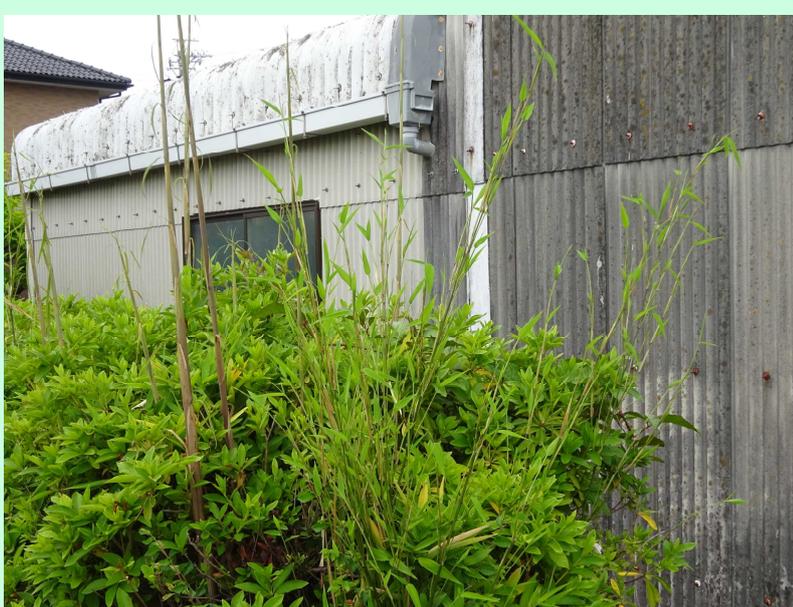
一つ目は、「子どもはよく見ている」ということです。雑草の間から顔を出すたけのこ。普通なら絶対に気づかないと思います。しかし、子どもたちはよく見ているのですね。大人がムキになって探しても分からなかったものを見つけてしまうのですから。子どもの目の付け所や子どもの視点には本当に感心させられます。

二つ目は、「大人はついつい決めつけてしまい、見えるべきものが見えなくなる」ということです。「たけのこは竹があるところに生える」という思い込みが、たけのこを見えにくくさせてしまっていると感じました。

さらに、左の写真を見てください。庭木の間から竹(笹?)が生えているではありませんか。吉浜小学校に勤めて4年目になりますが、ここに竹(笹?)が生えていることを初めて知りました。「学校には竹は生えていない」という思い込みが竹そのものも見えにくくしてしまっていたようです。

子どもたちは、きっと勝手な思い込みがありませんので、いろいろなことが目に入ってくるのでしょうね。うらやましく思います。

今後も日々、子どもたちに学びながら共に過ごしていきたいとあらためて感じた出来事でした。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月23日 No.17

運動会 27日火曜日に延期



運動会に向けて気持ちと技術を高めてきた子どもたちですが、昨日予定されていた運動会は天候・グランドコンディション不良により27日火曜日に延期になりました。てるてる坊主をつくって晴天を願った学級もありましたがその願いは叶いませんでした。

「本番に最高の演技や競技を！」と準備してきた場合、それが延期などで流れてしまうと、また新たに予定日に向けて気持ちを高めていくのは難しい」と聞くこともありますが、「まだ練習ができるんだ」「さらに高めていくことができるんだ」と考えると、きっとこの雨は、「恵みの雨」になるのではないかと考えています。実際に、6年生は中止になった昨日、そして、本日も放課の自主練習を継続しています。本番が楽しみです。子どもたちの気持ちを高める声かけをお願いします。そして、27日火曜日をお楽しみに。

暑い日が続きます



暑い日が続くようになり、運動場に黒球式熱中症指数計を設置し、気温や湿度、WBGT（暑さ指数）を測定しています。定期的にその結果を職員室前の黒板に記し、注意を呼びかけています。こまめな水分補給を促し、熱中症予防に努めてまいります。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月26日 No.18

鏡の法則

人間関係は「鏡の法則」。自分が右に動けば鏡に映る自分も同じ方向に動き、自分が笑えば鏡に映る自分も笑う。これは人間関係にも言えることで、「自分が笑いかければ相手も微笑み、自分が優しくすれば、相手も優しくしてくれる」ということなのです。

先週、他学年の運動会の演技を見学に行ったとき、みんなは大きな声で、「がんばれー！」と応援したり、「すごい！」と拍手をしたりしていた。他学年のことを一生懸命応援していたから、みんなの演技を見た他学年の子たちからも大きな声援や拍手をもらうことができた。これも「鏡の法則」。

ただ、みんなは応援してもらいたくて他学年を一生懸命応援しているのではなく、応援したい気持ちを自然と当たり前のように出しているだけのこのように感じます。こんなみんな、すばらしい！

ある先生から教えてもらいました。子どもたちが当たり前のように、自然に行っていることが、他人を励まし、勇気を与えていることを嬉しく思い、子どもたちにも伝えているそうです。そして、子どもたちの意見により見学後のメッセージカードを全学年に贈るという取組が始められたとも聞きました。大変嬉しく思いました。

このクラスのように、他学年の演技を見学する姿はどの学年も大変素晴らしかったです。大きな声援や温かい拍手など、このように応援されたら「頑張ろう」という気持ちがますます高まっていくように思います。ただ、そこには子どもたちの隣で一緒になって応援する教員の姿があったからこそとも思いました。これもまさに、「鏡の法則」と言えるでしょう。教員だけでなく、保護者のみなさんも、そして地域のみなさんも、子どもたちによい姿を見せていかなければとあらためて感じます。みんなで子どもたちを育てていきたいですね。



<お礼のメッセージカード>

教室では



<2年生 算数>

長さの学習も
30cmの長さ
のものを測る
て、身の回り
にあるものを
さを測って
した。○cm
mmと○cm
方に慣れ
ましたね。



<3年生図工>

色つきの紙粘
土を筒状の型
に貼り付けて、
小物入れをつ
くっていまし
た。できあが
たら何を入れ
るかな。



<3年生理科>

芽を出したヒ
マワリの観察
です。虫眼鏡
を手にして詳
しく調べてい
ました。どん
見があった
でしょうか。

明日は運動会です

延期になっていた運動会。「明日はできるかな」「早く明日にならないかな」など、何人かの子どもたちが話してくれました。「てるてるぼうず」に込めた子どもたちの願いが叶うと思います。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月28日 No.19

運動会ありがとうございました



1年生の子どもたちにとっては初めての運動会。教室で動画を見ながら考えた作戦で大玉転がし、頑張っていました。2年生にとっては2回目の運動会。ダンシング玉入れは思った以上にハードな競技だと思いましたが、休む間もなく玉入れ・ダンスを繰り返し頑張っていました。終わった後に息を切らしている子もいましたが、笑顔いっぱいでした。



心をついに合わせるように声を出し合い元気に頑張った3年生の台風の目。一人一人がもてる力の100%を出し、4年生として12500%を目指したソーラン節。どちらも最高でした。



高学年の徒競走。低中学年に比べ、躍動感、力強さを感じます。5年生のバラエティリレー、順番を待つ走者のサポートをする子どもたちの姿が印象的でした。学級が一つになっていました。



そして、6年生。昨年度末、昨年6年生からフラッグの技と心を引き継ぎました。以後、演技の内容も自分たちで考え、朝練習を重ねてきました。私が子どもの頃の運動会は教員が主導し、私たちが考えることは何もありませんでした。これとは違い、毎年、6年生の演技は、「何のためにどんな演技をするのか」、このことを子どもたち自らが考え、創り上げる演技となっています。5年生から6年生になって、1年生のお世話を頑張りつつ、長放課には自主練習を重ねてきました。こうした6年生の姿を下級生は見てきました。「6年生になったあんな演技がしてみたい」というあこがれが、伝統が引き継がれて行く大きな要因になっています。運動会の演技種目の一つですが、本校にとって、本校の子どもたちにとって大きな役割をもっている「フラッグ演技」です。破れてボロボロになっている練習用のオレンジ色のフラッグを見ました。年明け金曜日の帰り、月曜日の朝、ランドセルにフラッグを差して登下校する姿をたくさん見ました。本日の素晴らしい演技につながっています。雨の中、盛大な拍手と声援をありがとうございました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月30日 No.20

田植え



現在は田植えの経験も簡単にはできない時代になりました。そんな中、5年生が田植えをしました。どろんこになるのを気にしていたのも最初だけで、すぐに楽しそうに植えていました。「(田んぼに入るのは)意外と気持ちいいよ」と教えてくれる子もおり、よい経験になったと思っています。現在、政府の対策により米の価格がどうなるのか(下がってほしいですね)に注目が集まっています。本日の田植えの経験が、子どもたちがこの問題にちょっぴり関心をもつきっかけになるのかなと思います。秋の収穫が楽しみです。